



第二種
尋常小學書方手本
第五六學年用甲下甲種

K130.72
2.1
5.6甲下b

K130.721

2.1

5.6甲下b

第二種



第五六學年用甲下甲種

尋常小學書

文部省

もろこしの人に見せはやみ吉野の

吉野の山の山櫻花。

葛西大甲下甲

葛西大甲下甲

敷島の大和心を人問はは

朝日ににほふ山櫻花。

三
金剛石もみがかずば玉の光はそはざらん。
人も學びて後にこそまことの徳はあらはるれ。

第壹拾甲下甲
第壹拾甲下甲

時計の針のたえまなくめぐるが如く時のまの目かけ
をしみて勵みなば如何なる業が成らざらん。

四

崩御。諒闇。慈愛。恩。

五

第三尋 甲下甲

賜。婦道。模範。盛德。

六

第三尋 甲下甲

圓直徑半徑橢

第三尋甲下甲

圓卵形長方形

第三尋甲下甲

南滿洲鐵道支線。

九

第三尋六甲下甲

第三尋六甲下甲

連絡點集散地。

十

拜啓いよく来月一日より御入營なされ侍
事御一家を始め一村の名譽に侍座侍
御入營の上は品行方正職務に忠實に

第尋六用下甲

第尋五用下甲

して隊中の模範となられ小様いの上供
私も明年は御仲間入致し度と今より
樂しみ居り小間時の營内の様子未報知

十二

下されたく願ひ上候御出立の日は参考上
由見送致すはずに候へども手紙はなし
難き商用これ有り候へば手紙を以て

第十三
第百五十四号

第百五十四号

御祝ひ申し上候敬具

十一月二十五日

加藤耕作

増村啓太郎様

第十四

神ハ正直ノ頭ニ宿ル。天ハ自ラ
助クル者ヲ助ク。陰徳アレバ陽
報アリ。積善ノ家ニ餘慶アリ。

十五

第三卷 甲下甲

第三卷 甲下甲

人の親の心はやみにあらねども
子を思ふ道にまどひぬるかた。

十六

販賣組合生產費。

十七

第三卷 甲下甲
第六卷 甲下甲

節約肥料購入。

十八

彫刻繪畫名所。

三十一

第三尋五甲下甲
第六尋六甲下甲

舊跡拜觀感興。

三十二

橫濱。神戶。函館。新潟。
長崎。門司。敦賀。大泊。

基隆。釜山。仁川。元山。
大連。營口。天津。上海。

神奈川。兵庫。長崎。新潟。埼玉。群馬。千葉。
茨城。栃木。奈良。三重。愛知。靜岡。山梨。滋賀。
岐阜。長野。宮城。福島。巖手。青森。山形。

秋田。福井。石川。富山。鳥取。島根。岡山。
廣島。山口。和歌山。德島。香川。愛媛。高知。
福岡。大分。佐賀。熊本。宮崎。鹿兒島。沖繩。

父母ノ恩ハ山ヨリモ
高ク海ヨリモ深シ。

二十七

培第卷五甲下甲
第百六十一回

玉磨カザレバ光ナシ。
人學バザレバ知ナシ。

二十八

氣象觀測天氣豫

二十九

第壹卷甲下甲

第壹卷甲下甲

報晴曇雲雪霜警言報

三十

規。律。點。呼。檢。查。

三十一

第一卷 甲下甲

第二卷 甲下甲

課。業。教。練。學。科。

三十二

帝國議會。法律。豫
算。決議。協贊。裁可。

憲法。典範。條約。樞
密院。總裁。勳功。

V130, 921-21
下下下

大大大大
正正正正
五五五五
年年年年
九七六六
月月月月
十十十十
五五七七
日日日日
日翻發印
刻刻發印
行刷行刷



著作權所有

大正五年七月二十日
文部省檢査濟

發賣所

東京市日本橋區新地
右衛門町十六番地
株式會社

國定教科書共同販賣所

第二種尋常小學書
手本第五六學年用甲下甲種

定價金參錢

著者 日 文 部 秩 父 省
發行所 大 阪 書 籍 株 式 會 社
兼印刷者 大 阪 市 南 區 難 波 齊 原 町 千 百 八 十 八 番 地 九
印刷所 大 阪 市 南 區 難 波 齊 原 町 千 百 八 十 八 番 地 九
代表者 三 木 佐 助

